

ときめきの瞬間



園児がホタルの幼虫を放流

4月6日(火)

山神保育園では、4歳児の26人が、園の隣を流れる大平川にゲンジボタルの幼虫を放流しました。放流したのは、地域の方が昨年の夏から育てたホタルの幼虫400匹と、餌になるカワニナ200匹で、園児はホタルの成長を願って「大きくなってね」と声を掛けながら川に流していました。



はなの木大学クラブ発表

4月7日(水)

平成21年度はなの木大学閉校式とクラブ発表が、市文化プラザでありました。はなの木大学は65歳以上の方が対象の高齢者大学で、この日は430人が1年間の学習を終えました。式後には、囲碁や写真、コーラス、健康体操など各クラブによる活動紹介や発表会があり、皆さんは日ごろの成果を存分に披露しました。



われら「緑の少年団」

4月15日(木)

鶴里小学校の5・6年生の児童27人が、鶴里生産森林組合員から指導を受けながら、地元の山に植林されたヒノキの枝をのこぎりで切るなど、森林整備作業を体験しました。同町では、6年生の児童が中心になった「緑の少年団」が毎年、同組合員とともに森林整備作業を行っています。

表紙の一枚

ギフチョウ観察会

4月4日(日)

この時期しか見られず、その美しい姿から『春の女神』とも呼ばれるギフチョウの観察会が、陶史の森内のチョウの館で行われました。市内外から訪れた親子連れなど60人の参加者は、カタクリやサクラの花のみつを吸うチョウの様子を観察したり、写真撮影をして楽しんだ後、同森に放ちました。

